

User Manual

Discrete 4

Synergy Core

THUNDERBOLT™ 2 & USB 2.0 AUDIO INTERFACE
with 4 discrete preamps and Synergy Core FX



目次

1. 始める前に.....	4
2. セッティング方法.....	6
2.1. Windows 10 の設定	8
2.2. macOS の設定 (10.14 or later).....	10
3. フロントパネル.....	12
3.1 System Menu.....	13
3.2 Control Menu	14
4. リアパネル	16
5. SOFTWARE CONTROL PANEL.....	22
5.1. クイックスタート	23
5.2. マウス・キーボードショートカット.....	26
5.3. メインビュー説明.....	27
5.3.1. Function Strip 1.....	27
5.3.2. Function Strip 2.....	28
5.3.2.1. Settings Button.....	29
5.3.3. PREAMPS Strip	31



5.3.4. Input Selectors	32
5.3.5. AFX Strip.....	33
5.3.6. Output Tabs.....	34
5.3.6.1 AuraVerb.....	36
6. Guitar Amps & Cabs	44
6.1. Software Re-amping.....	46
7. Edge & Verge mic emulations	47
7.1 Getting Started	47
7.2. Gain Calibration.....	47
7.3. Edge Solo.....	48
7.4. Edge Duo	50
7.5. Edge Quadro.....	53
7.6. Verge.....	56
8. AFX2DAW	58
9. 高度なユーザー向け情報	60
10. サポートインフォメーション.....	61
11. 製品が正常に動作しない場合	63
12. 限定製品保証ポリシーについて	65
13. 製品を安全にご利用頂くために.....	72
14. 技術仕様.....	74



1. 始める前に



製品をご購入頂き誠にありがとうございます。以下に注意してご使用ください。

Antelope Audio インターフェースのソフトウェアコントロールパネルは、Discrete 4 Synergy Core と DAW の「仲介者」です。ユニットの機能を最大限に活用するには、ゲイン調整、信号ルーティング、エフェクト処理、「ラフ」ミキシング、コントロールパネルからのメータリングなどのタスクを処理する必要があります。オーディオは DAW にルーティングされ、マルチトラック、ステム、2 チャンネルステレオなど、DAW で選択した形式で録音されます。

慣れているものとは異なるアプローチです。おそらく、現代の DTMer にとって最も馴染みのあるワークフローは、オーディオインターフェースをコンピューターの内外に音声を出す箱のように扱い、残りのセッションは DAW で行われることを好むでしょう。ある程度、フロントパネルディスプレイとモニター、ゲインコントロール、セットアップのコントロールに依存して、Discrete 4 Synergy Core を使用して、録音、ミキシング、マスタリングに DAW を使用することが可能です。

しかしながら、Synergy Core エフェクトを DAW のインサート（プラグイン）として使用する唯一の方法は、Antelope Audio AFX2DAW プラグインを購入することです。これは、ハードウェアで処理された低遅延エフェクトを、オーディオトラックに適用される典型的なソフトウェアプラグインに変えるハードウェアからソフ



トウェアへの「ブリッジ」と考えてください。執筆時点では、AFX2DAW は Mac ユーザーが Thunderbolt™
でのみ利用できます。AFX2DAW for Windows は現在開発中です。[詳しくはこちら](#)

初期セットアップ後、コンピューターに接続せず、Discrete 4 Synergy Core を使用することもできます。
この場合、ユニットはフロントパネルコントロールから操作されるデジタルミキサーとして機能します。ソフトウェ
アコントロールパネルからの最後に設定した信号ルーティング構成が適用されます。

好みに関係なく、コントロールパネルアプリケーションに慣れることをお勧めします。この方法により、
Antelope Audio 製品を初めて使用するユーザーの潜在的な障害を克服できます。たとえば、音声の録
音および再生に関するほとんどすべての問題（インターフェイス側）は、正しい信号ルーティングで解決で
きます。

Antelope Audio の日本語サポートページには、様々なトラブルシュートに関する情報が記載されてありま
す。また、日本語、英語に関係なく、Youtube Video には製品の使用に役立つ動画がアップロードされ
ています。詳しくは jp.antelopeaudio.com/support/ を御覧ください。

Best wishes,

Team Antelope



2. セットアップ方法

デバイスに AC 電源に接続し、コンピューターの電源を入れます。

1. USB 2.0 Type-B（付属）または Thunderbolt™ ケーブルを Discrete 4 Synergy Core およびコンピューターに対応するポートに接続します。

メモ:

- ユニットは、最初の起動時に接続タイプを自動的に検出しますが、その後の起動では検出しません。Thunderbolt™ 接続と USB 接続を切り替えるたびに、システムメニューの [Change Interface] から接続タイプを手動で設定します。
- 初期設定後、Thunderbolt™ と USB の両方をコンピューターに接続し、システムメニューの [Change Interface] から切り替えることができます。

2. www.antelopeaudio.com にアクセスしてアカウントにログインするか、新たにアカウントを作成します。
(アカウントがない場合)

3. Discrete 4 Synergy Core Web サイトの「[ダウンロード](#)」セクションから、オペレーティングシステム (Windows 10 / macOS 10.11 以降) 用の最新の Antelope Launcher とドライバーをダウンロードしてインストールします。

注意: Windows での Thunderbolt™ 接続の場合、最新のものをダウンロードしてインストールします。 [Antelope Audio Windows Thunderbolt™ driver](#).

4. Antelope Launcher を起動し、Discrete 4 Synergy Core が最新のファームウェアとコントロールパネルバージョンを実行していることを確認します。セットアップの詳しい解説は [こちら](#)

メモ: デバイスが Antelope Launcher またはオペレーティングシステムに認識されない場合は [こちら](#)



5. Antelope Launcher から Discrete 4 Synergy Core Control Panel を起動し、デバイスのアクティベーションを行います。

注意: オペレーティングシステムからセキュリティプロンプトをバイパスします。Windows Defender ファイアウォールおよび macOS アラート。

6. お好みのアナログおよびデジタル機器を Discrete 4 Synergy Core に接続します。

7. お好みの DAW を起動:

- Discrete 4 Synergy Core を DAW の入出力デバイスとして選択します。
- DAW およびオペレーティングシステムのサンプルレートがデバイスのサンプルレートと一致していることを確認します。

ヘルプが必要な場合

[Antelope Audio Customer Support](#) サポートが必要な場合はこちらにアクセスしてください。

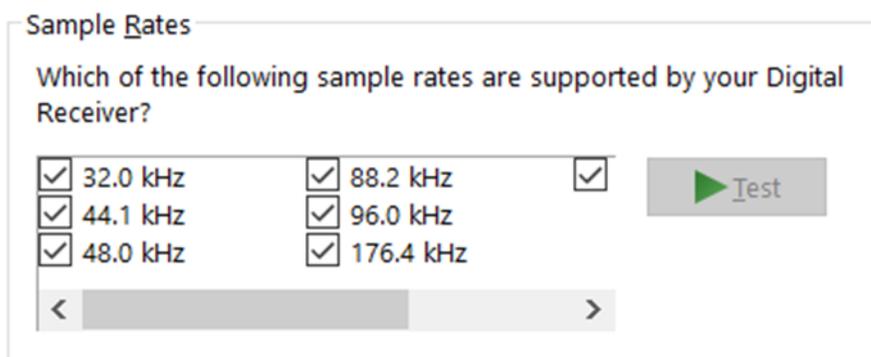
日本語でのサポートを希望する場合は日本語サポートへアクセスしてください。



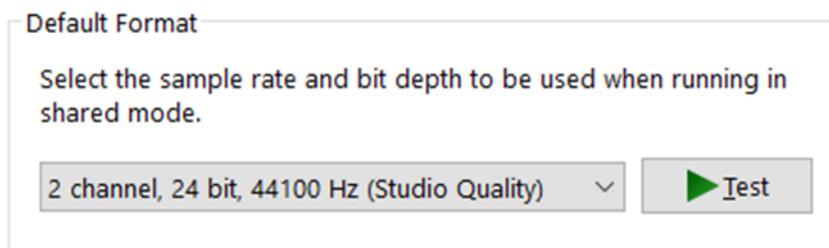
2.1. Windows 10 の設定

Windows 10 では、すべてを稼働させるためにいくつかの調整が必要です。

1. コントロールパネルから [サウンド] オプションウィンドウに入るか、システムトレイのスピーカーアイコンを右クリックして [サウンド] を選択します。
2. [再生] タブに入り、デバイスがデフォルトの再生デバイスとして設定されていることを確認します。デバイスを選択し、[プロパティ] をクリックします。
3. [サポートされている形式] タブに入り、使用可能なすべてのサンプルレートの横にチェックマークを付けます。



4. [拡張機能] タブに入り、すべての拡張機能が 無効 になっていることを確認します。
5. [詳細設定] タブを開き、利用可能な [2チャンネル、24ビット] モードのいずれかを選択し、[OK]をクリックしてウィンドウを閉じます。





[録音] タブに入り、デバイスがデフォルトの録音デバイスとして設定されていることを確認し、[OK] をクリックしてウィンドウを閉じます。

Tips

- 使用中に中断または障害が発生し、同時に OS からオーディオを再生しようとする場合は、デバイスのサンプルレートが DAW セッションと一致することを確認してください。
- デバイスを無効にし、[再生] タブから再度有効にして、ドライバーを更新できます。これは、デバイスの切断と再接続に似ており、Windows が使用中のアプリケーションの再生設定をリセットします。
- 場合によっては、[再生] プロパティの [詳細] タブで [排他モード] 機能を無効にすることで、複数の再生アプリケーションを同時に実行するのに役立つ場合があります。
- 32kHz のサンプルレートを無効にすることは必須ではありませんが、一般に役立つ場合があります。

以下を軽くお読みください。

Antelope Audio Knowledge Base - [Windows 10 Optimization](#)

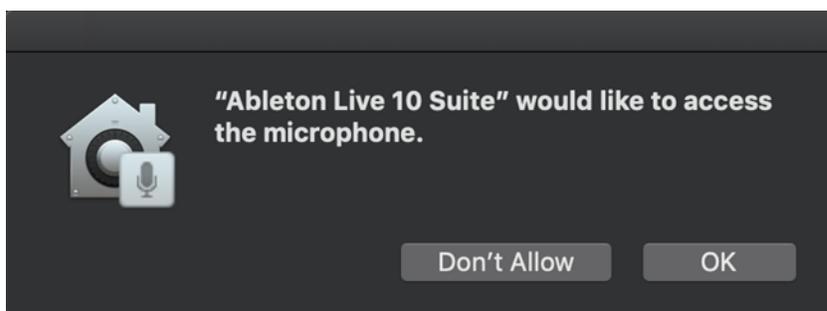


2.2. macOS の設定 (10.14 or later)

macOS Mojave 10.14 で導入された新しいセキュリティ設定により、すべてが正しくセットアップされていても、DAW に入力信号が届かない場合があります。

これらの手順は、DAW で Discrete 4 Synergy Core を初めて使用する場合に適用されます。

1. DAW を起動し、入力デバイスとして Antelope 製品を選択します。次のダイアログボックスが表示されます。（例えば、Ableton Live 10 Suite を使用している場合）



2. [OK] をクリックすると、DAW が正常に機能します。

ただし、何らかの理由で上記のイベントが発生しなかった場合、または複数の DAW を使用している場合は、[セキュリティとプライバシー] 設定でそれぞれを手動で調整する必要があります。

1. メニューバー 左上 [Apple] 記号をクリックして、[システム環境設定] を選択します。[セキュリティとプライバシー] 設定メニューに移動します。

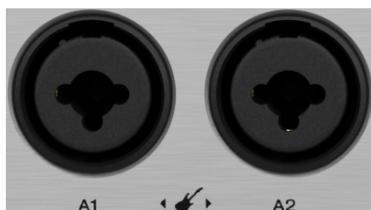
2. [プライバシー] タブをクリックします。左側の列で、[マイク] を選択します。使用する DAW の横にチェックマークがあることを確認してください。



注意: 設定を変更するには、左下隅にある南京錠のシンボルをクリックしてパスワードを入力する必要があります。



3. フロントパネルの説明



Mic/combo Inputs

2つの Mic / line / Hi-Z 入力 combo XLR 端子。A1、A2 とラベルされています。

重要！ ラインレベルを入力する場合は TS または TRS ケーブルを使用してください。



Display

ピークメータリング、メニューコンテンツ、ファームウェアアップデートの進行状況、その他の有用な情報を表示します。



Function Buttons

3つのファンクションボタンは異なる機能を提供します:

Top Button

- ヘッドフォン出力 1~4 (HP1~HP4) ラインおよびモニター出力のゲインを表示します。ロータリーコントロールを回してゲインを調整します。ロータリーコントロールを押し込むと、ミュートとミュート解除を行います。
- 長押しすると、Discrete 4 Synergy Core の System Menu に入ります。

3.1 System Menu

システムメニューには、次のサブメニューがあります。ロータリーコントロールを回して、エントリをスクロールして選択します。ロータリーコントロールを押して、入力または確認します。いずれかのボタンを押して終了します。

Device Info

デバイスのシリアル番号、ハードウェアおよびファームウェアのリビジョンを表示します。カスタマーサポートによるトラブルシューティングに役立ちます。



Change Interface

ロータリーコントロールノブを押し込んで、USB 接続と Thunderbolt™ 接続を切り替えます。接続を切り替えるたびに、これを手動で行う必要があることに注意してください。

Scr Saver Time

スクリーンセーバーが表示されるまでにかかる時間を選択します。快適な最短の設定をお勧めします。

Scr Save Style

スクリーンセーバーのタイプを選択します。インターフェースが定期的に長時間動作している場合は、「黒」をお勧めします。これにより、ディスプレイの焼き付きを防止することができます。

Factory Reset

工場出荷時の状態にリセットします。すべてのプリセットと設定が失われることに注意してください。

メニューから離脱したい場合はいずれかの Function ボタンを押してください。

Middle Button

1回押すと、同期ソースやデバイスのサンプルレートなどの情報が表示されます。もう一度押すと、マイク/コンボ入力 1~4 のゲイン、信号タイプ、および 48V 電力設定が表示されます。3回押して終了します。

Bottom Button

- 押すと、プリアンプ 1~4 の選択が可能です。ロータリーコントロールを回して、ゲインを調整します。ロータリーコントロールを押して、入力信号の種類（マイク/ライン/ Hi-Z）を変更します。中央のボタンを押して終了します。
- 押し続けると、Discrete 4 Synergy Core Control Menu に入ります。

3.2 Control Menu



コントロールメニューには、次のサブメニューがあります。ロータリーコントロールを回してエントリを選択し、値を調整します。ロータリーコントロールを押し込んで、入力または確認します。いずれかの Function ボタンを押して終了します。

Power OFF

電源を落とします。安全のために Power OFF した後、AC 電源をコンセントから抜いてください。

Clock Source

次のオプションからクロックソースを選択できます。

- Internal
- ADAT (2x, 4x)
- S/PDIF
- USB (USB モードは、Discrete 4 Synergy Core の内部クロックを使用します。)

Sample Rate

デバイスのサンプルレートを選択します。選択がオペレーティングシステムと DAW のサンプルレートと一致することを確認してください。

Monitor Trim

モニター出力信号の調整 (dBu 単位) を調整します。

Line Out Trim

ライン出力信号トリムを調整します。(dBu 単位)

Brightness



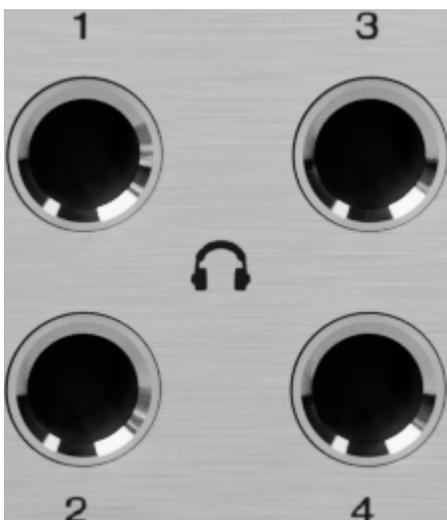
ディスプレイを暗くするか、明るくします。



Rotary Control

ゲイン値を正確に調整するための大きなステップアッテネーター。デフォルトの動作は次のとおりです。

- Top Function ボタンで選択した出力の音量を制御します。
- 押し込んで、選択した出力をミュートまたはミュート解除します。



Headphone outputs H1 - H4.

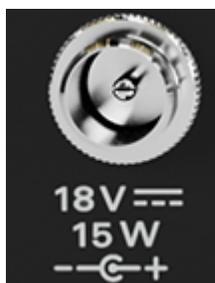
1/4インチ TRS ジャックの 4つのステレオヘッドフォン出力。

4. リアパネルの説明



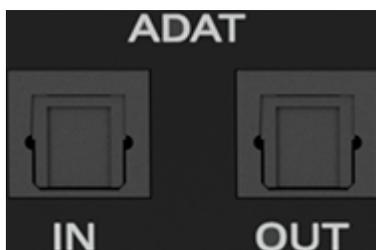
S/PDIF I/O

RCA ケーブルを使用して2チャンネル S/PDIF デジタルオーディオを送受信します。



18V/15W Power Input

付属の Antelope Audio 電源でのみ使用してください！





ADAT I/O

Toslink 光ファイバケーブルを介して、最大8チャンネルの ADAT デジタルオーディオを送受信します。ADAT は S/MUX 上で実行されることに注意してください。標準の ADAT オーディオ制限が適用されます。

- 最大 4 チャンネル、24-bit, 96kHz audio (over S/MUX)
- 最大 2 チャンネル、24-bit, 192kHz audio (over S/MUX)
- すべての ADAT オーディオは、24ビットの解像度で送信されます。

メモ: ADAT の接続または切断のためにデバイスの電源を切る必要はありません。ただし、接続時に大きな信号スパイクが発生するため、受信機器をミュートする必要があります。



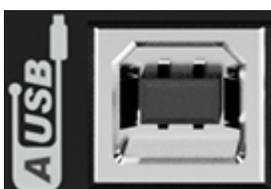
Kensington Lock

デモなどでユニットを物理的にロックするために使用されます。



Thunderbolt™ port

コンピュータ接続用の Thunderbolt™ 2 ポート。Thunderbolt™ 3 接続には、サードパーティの TB3-レガシー-TB アダプターと対応するケーブルが必要です。



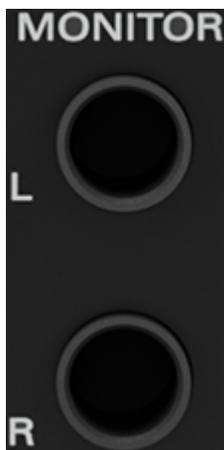
USB Port

コンピュータ接続用の USB 2.0 Type-B ポート



Word Clock Outputs

2つの BNC コネクタのワードクロック出力。



Monitor L/R Outputs

1/4インチ TRS ジャック、モニタースピーカー出力。



Line Outputs

1/4 インチ TS / TRS ジャックの4つのライン出力。DC-Coupled。



Mic/Line Inputs

コンボ XLR コネクターの2つのマイクプリアンプ/ライン入力。A3、A4 とラベリング。これらの入力では Hi-Z は使用できません。

重要！ ラインレベルの信号を入力する場合は TS / TRS ケーブルを使用してください。



5. SOFTWARE CONTROL PANEL



ソフトウェアコントロールパネルへようこそ！構造的には、従来の Antelope Audio コントロールパネルアプリケーションを簡素にデザインし直したものであるため、「EasyPanel」と呼びます。Discrete 4 Synergy Core のようなインターフェイスを直感的に操作できます。このデバイスでは、「ルーティングマトリックス」（スタジオパッチベイから派生）など、一部特殊な機能は小規模ユニットには適さないと感じました。

フロントパネルのコントロールを制御することにとどまらず、コントロールパネルはインターフェイスの機能の各側面への簡単で包括的なアクセスを提供します。これは、設定、入力、信号ルーティング、オーディオミキシング、エフェクトスタッキング、モニタリング、メータリング、およびプリセットが含まれます。

フロントパネルのコントロールと DAW の機能のある程度コントロールパネルに置き換えることは可能ですが、ソフトウェアに慣れて、デバイスを最大限に活用することをお勧めします。

「クイックスタート」セクションをガイドとしてすぐに使用を開始するか、スキップしてヴァーチャルノブとフェーダーに触れる前に章全体に目を通してください。



5.1. クイックスタート

まず、コントロールパネルで実行される重要なタスクの簡単な例から始めましょう。

メモ: これらの例は、以下のタスクを達成する「正しい」または「唯一の」方法では決してありません。それらはいくつかの基本的なロジックを示しているだけで、初心者ユーザーが最も頻繁に遭遇する「最初のつまずき」に対する解決方法を提供します。

ヘッドフォンでオーディオをモニターする

マイク/コンボ入力 A1 からの着信オーディオをフロントパネルのヘッドフォン出力1 (HP1) でモニターします。機器を A1 へ接続し、コントロールパネルを開きます。

1. 「PREAMPS」セクションで、左端のプリアンプに移動し、音量インジケータの右側にある中央のシンボルをクリックしてください

- マイクを接続した場合、マイクアイコンを選択します。コンデンサーの場合、ゲインノブの下のボタンから48V ファンタム電源を有効にします。
- ギターまたはベースを接続した場合のギターのアイコンを選択。
- ラインレベルのソース（シンセ、サンプラー、プレーヤーなど）を接続した場合のジャックアイコンを選択

2. [AFX] エリアの上にある入力セクターをクリックし、メニューから [PREAMPS] > [PREAMP 1] を選択します。

3. ヘッドフォンで楽器の音声が聞こえるはずですが、[PREAMPS] セクションの [GAIN] ノブで入力ゲインを調整し、ミックスフェーダーまたは [HEADPHONE 1] ノブで出力ボリュームを調整します。フロントパネルのコントロールを使用することもできます。



Synergy Core FX をオーディオに適用する

入力セクターの下の「AFX」領域をクリックして、Synergy Core FX ラックウィンドウを起動します。[ADD NEW EFFECT] ボタンをクリックして、選択を行います。完了したらウィンドウを閉じます。FX ラックの詳細な概要は、マニュアルの後半にあります。

バーチャルアンプとキャビネットを使用してギターを演奏する

1. ギターを A1 に接続し、Discrete 4 Synergy Core の [Monitor LR] にスピーカーを接続します。
2. コントロールパネルを開き、[PREAMPS] の一番左の領域に移動します。エレキギターのシンボルが表示されるまで、音量インジケータの右側にある中央のシンボルをクリックします。
3. [AFX] エリアの上にある入力セクターをクリックし、メニューから [PREAMPS] > [PREAMP 1] を選択します。
4. 入力セクターの下の「AFX」エリアをクリックして、Synergy Core FX Rack を起動します。[ADD NEW EFFECT] をクリックして、メニューからギターアンプとキャビネットを選択します。どこから始めればよいかわからない場合は、[Modern (US)] アンプと [Modern 4 x 12] キャビネットの組み合わせが、素晴らしいモダンなロック/メタルリグになります。

キャビネットシミュレータの詳細な概要は、マニュアルの後半で入手できます。

マイクエミュレーション使用し、ヘッドフォンでモニターする

1. フロントパネルの HP 1 にヘッドフォンを接続します。
2. Antelope Audio Edge または Verge モデリングマイクをプリアンプ/コンボ入力に接続します。この例では、入力 A1 および A2 に接続されている Edge Duo を使用しています。
3. コントロールパネルを開き、PREAMPS セクションから左端のプリアンプに移動します。「AFX」エリアの上にある入力セクターをクリックし、メニューから [PREAMPS] > [PREAMP 1] を選択します。



4. [マイク] アイコンに切り替わるまで、音量インジケータの右側にある中央のシンボルをクリックします。次に、[歯車] アイコンをクリックします。これにより、マイクエミュレーションウィンドウが起動します。ダイヤルで Edge Duo を選択します。
5. ゲインノブでマイクゲインを調整します。プリアンプ A1 と A2 がリンクされ、同じ設定になっていることに注意してください。この時点で、ヘッドフォンでマイクの音声が聞こえるはずですが、下部の HP1 ゲインノブまたはチャンネル 1 と 2 のミックスフェーダーを使用して、出力ボリュームを調整します。
6. マイクエミュレーションが適応された信号をモニター、またはそのまま DAW へ記録したい場合、3. で設定した PREAMPS 設定を EMU MIC に変更してください。

DAW へ録音する

Discrete 4 Synergy Core での録音は非常に簡単です。まず、インターフェイスが DAW のメイン入出力デバイスとして選択されていることを確認します。次に、コントロールパネルを開き、「DAW」をクリックします。次のことに注意してください。

- DAW の入力 1 - 16 は、「TO DAW」の [Record 1 - 16] というラベルの付いた 16 チャンネルに対応しています。入力セレクターを使用してオーディオソースを選択し、「AFX」エリアから Synergy Core FX を追加します。次に、DAW で新しいトラックを作成し、一致する番号を持つ入力を割り当てます。「Record 1」= 「Input 1」（各設定は DAW の説明書を参照）
- 同様に、DAW の出力 1 - 16 は、「FROM DAW」の [PLAY 1 - 16] というラベルのチャンネルに対応しています。これらのチャンネルは、入力セレクターからのオーディオ入力として選択できます。DAW の外部で使用するオーディオトラックに出力 1 - 16 を割り当てます。コントロールパネルで、クリックして [COMPUTER PLAY 1 - 16] を選択します。この方法で、Synergy Core FX の信号を DAW へ録音したり、最大4つのモニタリングミックスを作成したりできます。非常に自由度が高く、可能性は非常に幅広いです。



5.2. マウス・キーボードショートカット

次の機能は、コントロールパネルのマウスとキーボードのショートカットからアクセスできます。

- デフォルト値に戻す（すべてのノブとフェーダー）

ノブまたはフェーダーをダブルクリックします。

- テキストラベルを変更し、ゲイン値を手動で入力します。

テキストラベル/ゲイン値をダブルクリックします。

- パラメーター値を少しずつ調整します（すべてのノブとフェーダー）

Ctrl (Windows) / Command (macOS) を押しながらドラッグします。

- ピークメーターをクリックしてクリアします。



5.3. メインビュー説明

コントロールパネルは、上から下に次のように構成されています。



5.3.1. Function Strip 1



On/Off Button

クリックするとハードウェアユニットの電源のオン/オフができます。



Device Menu

ドロップダウンメニューをクリックして、接続されている Antelope Audio デバイスを切り替えます。Antelope Launcher からデバイスごとに個別のコントロールパネルインスタンスを起動もできます。



Help Button

クリックすると、次のヘルプウィンドウが開きます。

- Contact Tech Support (No Japanese)
- デバイスとソフトウェアの情報を表示
- アンテロープ登録ウィザードを起動 [ADMINISTRATION] ボタン



Minimize & Close Buttons

クリックして、コントロールパネルアプリケーションを最小化または閉じます。



5.3.2. Function Strip 2



Clock Source Menu

ドロップダウンメニューをクリックして、クロックソースを選択します。

- Internal
- ADAT (2x, 4x)
- S/PDIF
- USB (USB モードは、Discrete 4 Synergy Core の内部クロックを使用します。)



Sample Rate Menu

ドロップダウンメニューをクリックして、デバイスのサンプルレートを選擇します。選擇がオペレーティングシステムと DAW のサンプルレートと一致することを確認してください。



Lock Indicator

Discrete 4 Synergy Core が外部デバイス（ADAT など）にロックされているときに点灯します。



SESSION: * SAVE LOAD

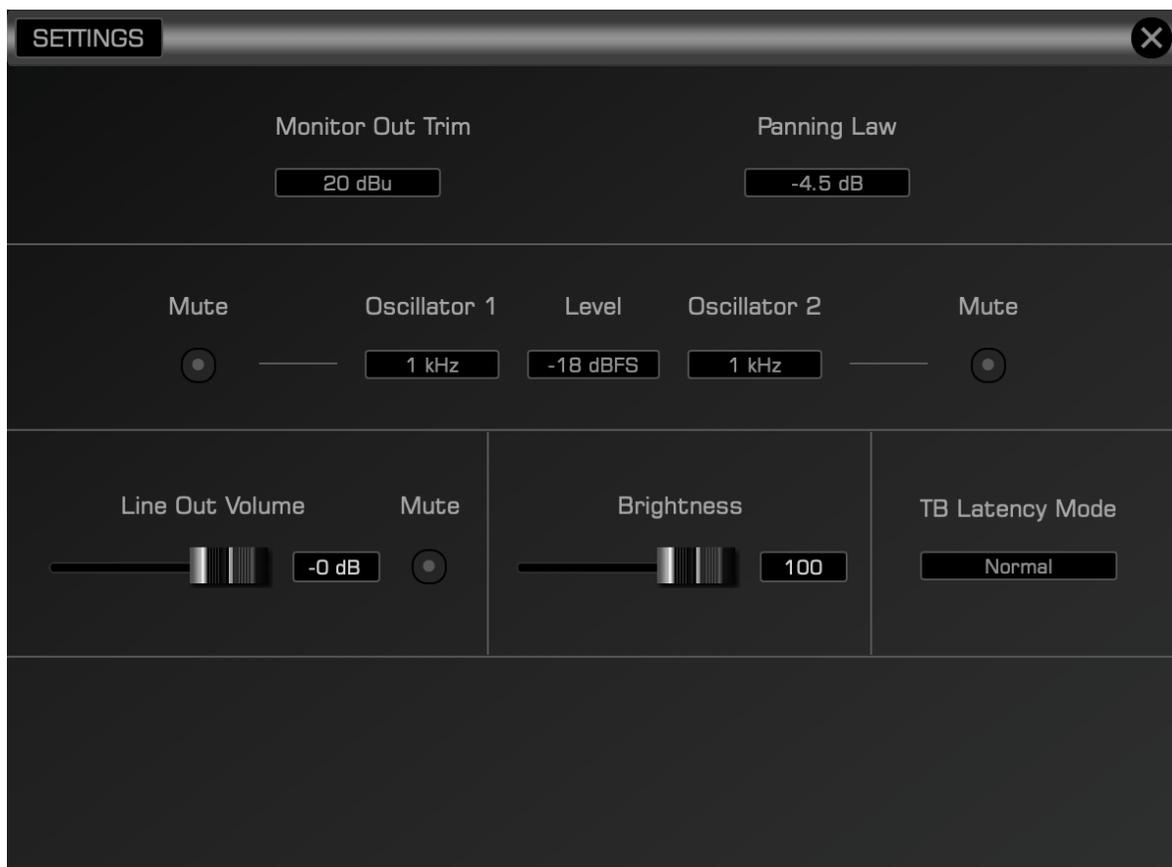
Session Menu

ドロップダウンメニューをクリックして、セッションをロードします。セッションファイル (* .as) を保存およびロードするには、隣接する「SAVE」および「LOAD」ボタンを使用します。

「セッション」は、コントロールパネル構成全体の完全な「スナップショット」です。セッションを保存するときに、保存するコンポーネントを正確に選択し、[名前を付けて保存 (Save As)] ボタンからセッションファイルを保存して共有することができます。セッションをロードするとき、セッションファイル (* .as) のコンピューターを参照し、ロードするコンポーネントを選択できます。

SETTINGS

5.3.2.1. Settings Button





Monitor Out Trim	ドロップダウンメニューからモニター出力の信号トリム量 (dBU) をクリックして選択します。
Panning Law	クリックして、ドロップダウンメニューから 0dB (なし) から -4.5dB の間でパン規則補正を指定します。
Mute	オシレーター 1 の出力をミュートします。
Oscillator 1	ドロップダウンメニューからオシレーター 1 のテスト信号の周波数を選択します。
Level	オシレータ 1 および 2 のテスト信号の出力レベル (dBFS) を選択します。
Oscillator 2	ドロップダウンメニューからオシレーター 2 のテスト信号の周波数を選択します。
Mute	オシレーター 2 の出力をミュートします。
Line Out Volume	フェーダーを使用して、ライン出力の音量を調整します (dB 単位)。隣接する「ミュート」ボタンをクリックして、ライン出力のミュートとミュート解除を行います。
Brightness	フェーダーを動かし、ハードウェアユニットのディスプレイの明るさを調整します。
TB Latency Mode	ドロップダウンメニューから Thunderbolt Latency モードを選択します。オーディオの不具合、CPU の過負荷などが発生する場合は、さまざまなモードを試してください。
ASIO Settings	Windows ユーザーの場合クリックして、Discrete 4 Synergy Core USB ASIO コントロールパネルを起動します。[バッファ設定] タブでは、レイテンシとパフォーマンスの最適なバランスを実現するために、好みの ASIO バッファサイズを選択できます。



5.3.3. PREAMPS Strip

左端に「PREAMPS」というラベルが付いています。Discrete 4 Synergy Core の A1 - A4 とラベル付けされた4つのマイク/コンボ入力のコントロールが含まれています。入力ごとに次のコントロールがあります。



Gain Knob

ノブをクリックしてドラッグするか、中央のテキストラベルをダブルクリックし、キーボードを使用して入力ゲインを調整します。ゲイン範囲は次のとおりです。

- Mic: -12dB - 64dB
- Line: -6dB - 20dB
- Hi-Z (inputs A1 and A2): 0dB - 40dB

48V Button (in mic mode)

クリックすると、コンデンサーマイクの 48V ファンタム電源を有効または無効にできます。



Peak Meter

入力ゲインを視覚化します。

Link Button

クリックして隣接する入力をリンクします。1つのチャンネルに加えられた変更は、隣接するチャンネルにもまったく同じ変更を適用します。

Input Type Button

クリックすると、マイク、ライン、または Hi-Z（入力 A1 - A2）の間で入力を切り替えられます。

Mic Emulations Button

クリックすると、「マイクエミュレーション」ウィンドウが開きます。詳細については、Edge & Verge マイクエミュレーションの章を参照してください。



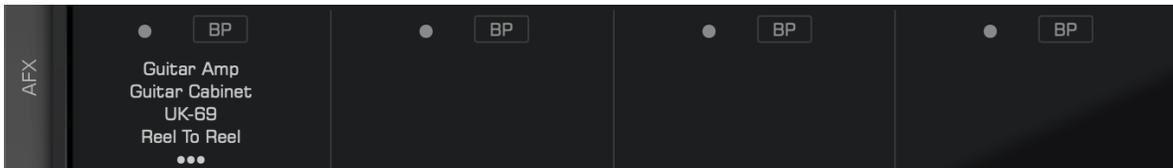
5.3.4. Input Selectors

入力セレクターは各アナログおよびデジタル出力チャンネルの上にあります。入力セレクターをクリックして、関連する出力チャンネルに割り当てられたオーディオ入力を選択します。次の選択肢があります。

PREAMP 1 - 4	4つのマイク/コンボ入力
EMU MIC 1 - 4	Edge & Verge マイクエミュレーションが適用された4つのマイク/コンボ入力です。これにより、「ドライ」オーディオと「マイクエミュレーション」オーディオを異なるチャンネルで録音できます。
COMPUTER PLAY 1 - 16	これらの入力は、DAW 出力 1 - 16 を表します。DAW からのオーディオを受信する場所です。DAW の出力 1 - 16 にオーディオトラックを割り当て、同



COMPUTER PLAY 1 - 16	じ番号の COMPUTER PLAY 入力を選択します。これにより、DAW オーディオをアナログおよびデジタル出力にルーティングし、Synergy Core FX も適応することができます。
ADAT IN 1 - 8	ADAT オーディオ入力 1 - 8
S/PDIF IN 1 - 2	S/PDIF ステレオデジタルオーディオ
MUTE M	チャンネルをミュート
OSCILLATOR 1 - 2	オシレータ1 または 2 からのテスト信号。



5.3.5. AFX Strip

左端に「AFX」というラベルが付いています。「MONITORS & HEADPHONES」および「DAW」タブで利用可能。各出力チャンネルの上の AFX 領域内をクリックして FX ラックを開き、Synergy Core FX を適用します。「BP」ボタンをクリックして、チャンネルに適用されているすべての FX をバイパスします。





次の機能が利用可能です。

- 「SAVE」および「LOAD」ボタンを使用して、FX チェーンを保存および呼び出します。
- [BP ALL] ボタンをクリックして、ラック内のすべての FX をバイパスします。再度クリックして、再度有効にします。
- [DEL ALL] ボタンをクリックして、FX ラックをクリアします。
- 入カラベルの下のドロップダウンメニューをクリックして、工場出荷時のプリセットをロードします。
- [ADD NEW EFFECT] ボタンをクリックして、Synergy Core FX を選択してロードします。コントロールは右側のセクションに表示されます。
- 左側のセクションでは、クリックしてドラッグして FX の順序を変更できます。各エフェクトの横にある [BP] ボタンを使用して、バイパスできます。
- Ctrl キー（Windows）または Command キー（Mac）を押しながらドラッグして、小さいステップでコントロールを調整します。
- 「How To」ボタンは、インターネットブラウザで、Antelope Audio YouTube チャンネルのビデオチュートリアルプレイリストを示します。

メモ: イコライザーとコンプレッサーのユーザーマニュアルはこちらから入手できます。[こちら](#)

MONITORS & HEADPHONES

DIGITAL OUTS

ANALOG OUTS

DAW

5.3.6. Output Tabs

Discrete 4 Synergy Core のアナログおよびデジタルオーディオ出力用の入力セレクター、ミキサーコントロール、ピークメーターを含む4つのタブ。理解するために各タブの説明をお読みください。



MONITORS & HEADPHONES

このタブには4つの 16 チャンネル仮想ミキサーが含まれています - ヘッドフォンおよびモニター出力ごとに1つの専用ミキサーがあります。メインモニターとヘッドフォン 1 のミックスはリンクされていることに注意してください。両方同じミックスを出力します。

入力セレクターを使用して音声入力を各チャンネルに割り当て、「AFX」エリアを使用して Synergy Core FX を4つの音声チャンネルに適用します。

オーディオ入力は4つのミキサーで共有されることに注意してください。ミキサーごとに異なる入力を持つことはできませんが、ソロ、ミュート、パン、リンク、ボリュームの各コントロールはミキサーごとに異なるため、4つの個別のミックスを作成できます。たとえば、「HEADPHONES 1」ミックスでは特定のオーディオ入力が必要ですが「HEADPHONES 2」ミックスでは不要な場合は、「HEADPHONES」のチャンネルを無音（ミュート、フェーダーを下げるなど）にするだけです。

マスターボリュームノブ、マスターピークメーター、AuraVerb、およびミックスビューを 8～16 チャンネルに拡張するスイッチが下部にあります。AuraVerb を詳しく見てみましょう。

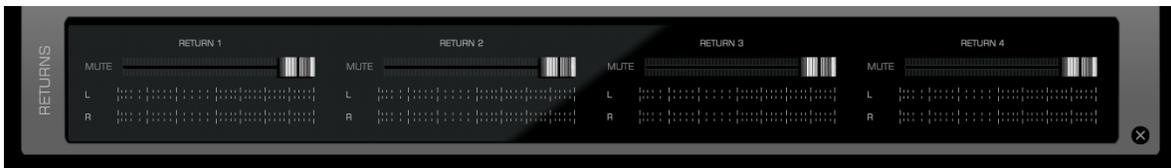


5.3.6.1 AuraVerb

AuraVerb は、特別な新しいアプローチと独自のアルゴリズムを使用して、豊かさと色を提供します。リバーブには、8つの異なるコントロールがあり、「Color」パラメーターを使用して、暗くなったテクスチャから明るい、ジューシーな存在までのすべてを作成します。さらに、受賞歴のあるオーディオエンジニアおよびプロデューサーの Brian Vibberts による 24 のプリセットがあります。



AuraVerb は、ライブパフォーマンスとモニタリング用に設計されたセンドエフェクトです。ミキサーチャンネルの「SEND」ノブを回して、リバーブが適用されているのを聞きます。

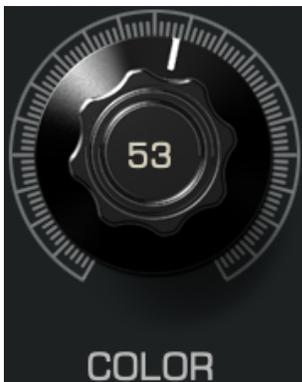


「Returns」エリアのフェーダーをドラッグして、モニターまたはヘッドフォン出力から AuraVerb を聞けます。



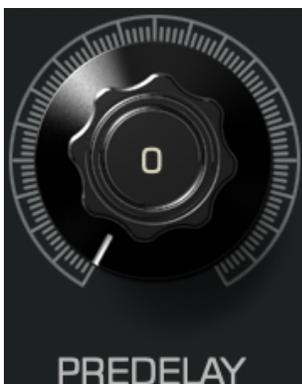
Parameters

AuraVerb では次のパラメーターを使用できます。



Color

カラーコントロールを使用すると、リバーブの全体的なトーンを調整できます。0 の場合、作成されたスペースは暗くなり、緑豊かなカーペットのようになります。100 では、リバーブが最も明るくなり、リードボーカルに「シズル」を加えることができます。

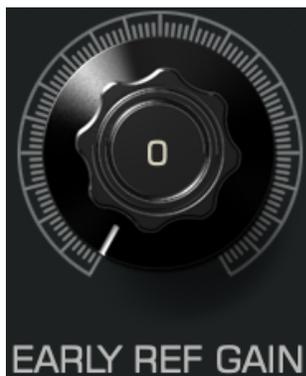


PreDelay

ほとんどのリバーブに共通するプリディレイパラメータを使用すると、ソースとリバーブの開始の間に少しのスペースを作成できます。これは、リバーブからの最初の音に先行する遅延時間の量を制御することにより発生します。このパラメータは、未処理の信号よりも後の時間に残響信号を配置するために使用されます。

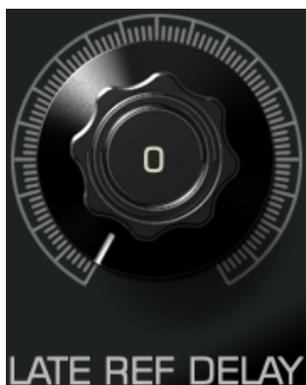


このための自然な設定は、環境のサイズに基づいており、範囲は 0 - 32 ミリ秒です。曲のテンポや曲の劇的なタイミングに関してこのパラメーターを微調整すると、ミックス内のリバーブの感触を設定するのに役立ちます。



Early Reflection Gain

すべての初期反射のリニアゲイン値です。これらの反射は、低いレベルに設定すると知覚的に直接音とグループ化され、増加するとトラックをうまく太くすることができます。



Late Reflection Delay

AuraVerb は仮想空間の側壁と天井からの反射エネルギーを計算します。Late Reflection Delay は、これらの反射バーストのディレイを制御し、エコーを作成するか、シミュレートされた音響空間の空間的印象をサポートします。



Richness

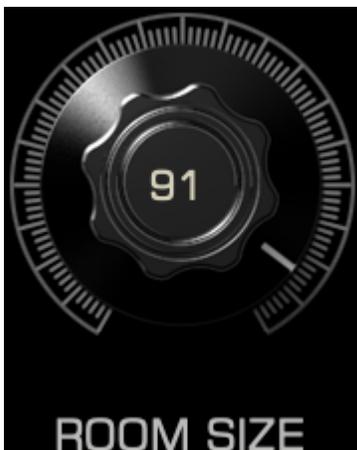
Richness は、リバーブのエンベロープとニュアンスの減衰の複雑さを制御します。0 では、減衰が少なくなり、減衰が明るくなります。この音は軽いか風通しが良いですが、豊かさを増すことにより、音に広がり感を加え、低周波数のリバーブ時間をスムーズに増やすことができます。



Reverb Time

Reverb Time は減衰の長さを制御し、Room Size は仮想空間の寸法を増加させます。知覚される減衰時間は、高周波数コンテンツを多く含むソースのリッチネスとカラーの影響も受けます。一般的に、スペースのサイズが大きくなると、リバーブ時間も長くなります。

リバーブ時間を 50% に設定すると、すべての部屋のサイズで自然な響きの尾が得られます。興味深い大きなスペースや微妙なアンビエンスリバーブは、[Room Size] パラメーターに対してリバーブタイムを異常に高くまたは低く設定することで作成できます。



Room Size

仮想空間のサイズを増加させます。



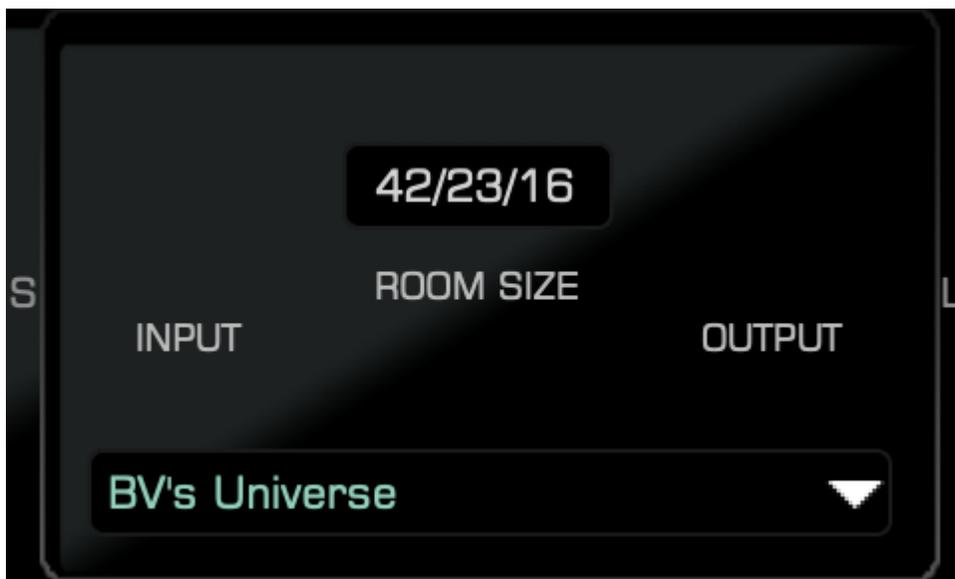
Reverb Level

これはリバーブの出力レベルコントロールです。AuraVerbの入力は Mixer 1のチャンネルの Send ノブに割り当てられているため、Send コントロールからチャンネルの音量レベルを調整し、Reverb Level を使用してマスターバスのリバーブの量を調整することをお勧めします。



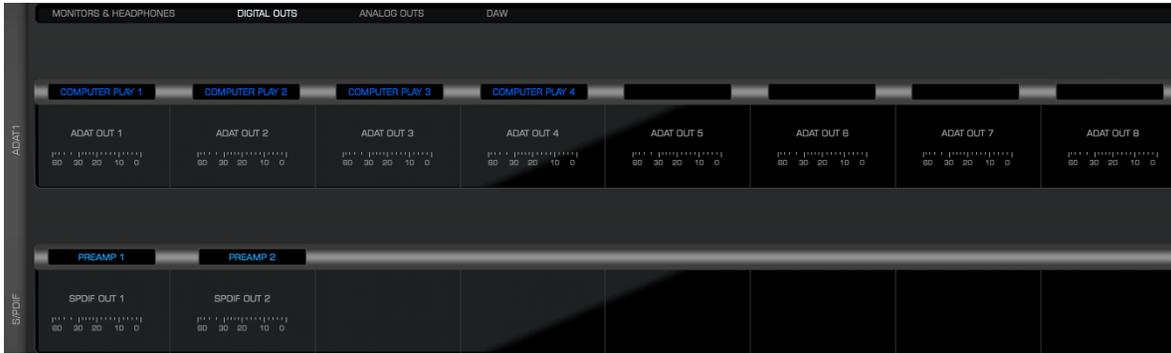
REVERB FX ON/OFF Switch

AuraVerb を有効または無効にします。



Preset Manager

プリセットマネージャーを使用すると、プリセットを保存およびロードできます。ドロップダウンメニューを使用して、プリセットを選択します。「S」ボタンを使用してプリセットを保存します。「L」ボタンを使用してプリセットをロードします。



DIGITAL OUTS

このタブでは、利用可能なすべてのオーディオ入力を ADAT および S/PDIF デジタル出力にルーティングできます。各 ADAT および S/PDIF 出力チャンネルには、専用の入力セクターとピークメーターがあります。



ANALOG OUTS

このタブでは、利用可能なすべてのオーディオ入力をラインおよび REAMP 出力にルーティングできます。各ラインと REAMP 出力には、専用の入力セクター、ピークメーター、およびトリムノブがあります。



DAW

このタブには、DAW を出入りするオーディオが表示されます。製品を発展して使用したい場合、ここで何が行われているのかを理解する必要があります。

「MONITORS & HEADPHONES」タブにある4つの仮想ミキサーのチャンネル 1 - 16 は、DAW の入力 1 - 16 に配線されています。4つのミキサーの入力はすべて共通となっています。したがって、以下のように考えてください。新しいトラックを作成し、それを「Input 1」に割り当てると、ミキサーの「チャンネル 1 番」のオーディオが DAW に入力されます。

便宜上、「MONITORS & HEADPHONES」タブの入力セレクターと AFX エリアは「DAW」タブにミラーリングされています。録音しているオーディオ入力を明確に確認できます。どの FX が適用されているか（存在する場合）タブ間を行き来することなく変更ができます。

ピークメーターは、すべての入力および出力 DAW オーディオチャンネルで使用できます。[COMPUTER PLAY] 入力をチャンネルに割り当てると、「FROM DAW」にピークメーターが表示されます。これは、[COMPUTER PLAY] 1 - 16 入力が DAW 出力 1 - 16 からオーディオを受信するためです。

したがって、DAW からアナログおよびデジタル出力、または Synergy Core FX にオーディオトラックを送信する場合 - このトラックを出力 1 - 16 に割り当て、コントロールパネルに戻り [COMPUTER PLAY] を割り当てます。好きな場所に同じ番号を入力してください。



6. GUITAR AMPS & CABS



11 のギターアンプと対応するキャビネットのスイートにより、エレキギターの音をリアルタイムで聞いて録音できます。ベース用のリグもあるので、プラグインしてストラッピングしてください！ ギターは弾かないが、クックアップのチューブやスピーカーキャビネットが空気を押し出すように、これらのバッドボーイに音声をルーティングして、何が起るかを聞いてください！

ギターアンプシミュレーター入門

ギターアンプとキャビネットは、他のほとんどの Synergy Core エフェクトと同様に使用できます。

1. ギターを A1 に接続し、Discrete 4 Synergy Core をスピーカーに接続します。
2. コントロールパネルを開き、「PREAMPS」の左端の領域に移動します。エレキギターのアイコンが表示されるまで、音量インジケータの右側にある中央のシンボルをクリックします。
3. 「AFX」エリアの上にある入力セクターをクリックし、メニューから [PREAMPS] > [PREAMP 1] を選択します。
4. 入力セクターの下の「AFX」エリアをクリックして、Synergy Core FX Rack を起動します。[ADD NEW EFFECT] をクリックして、メニューからギターアンプとキャビネットを選択します。



どこから始めればよいかわからない場合は、[Modern (US)] アンプと [Modern 4 x 12] キャビネットの組み合わせが、素晴らしいモダンなロック/メタルリグになります。

ギターアンプは説明する必要性を感じませんが、キャビネットモジュールは調査する価値があります。

- [Cabine] ドロップダウンメニューからいつでもキャビネットモデルを変更します。
- [Mic A] および [Mic B] ドロップダウンメニューからキャビネットのマイクを変更します。マイクを選択により位相の問題が発生する場合は、隣の [Phase] ボタンをクリックします。
- 仮想マイクをクリックしてドラッグし、垂直および水平の位置を調整します。
- [Mic A] および [Mic B] ノブをクリックして回し、各マイクから必要な信号量をダイヤルインします。
- [Rear Mic] ノブをクリックして回し、キャビネットの背後にある追加のマイクからの信号をミックスインします。
- [45° Mic] ノブをクリックして回すと、スピーカーコーンから 45 度の角度に配置された追加のマイクからの信号がミックスインされます。
- [ReSPiRe] ボタンをクリックして、Overloud のシムモジョを有効にします。言い換えれば、ReSPiRe テクノロジーを使用すると、キャビネットのリアルな応答と、ミックスに収まるように最適化された処理済みバージョンとを切り替えて、他の楽器との周波数重複を回避できます。
- [HPF] ボタンをクリックして、プリセットのハイパスフィルターを有効にします。（低域が過剰になります）
- [LPF] ボタンをクリックして、プリセットローパスフィルターを使用します。（調子の粗い音または甲高い音）
- [BP] ボタンをクリックして、バイパスします。

メモ: Synergy Core のキャビを無効にして、お好みの IR ロージャーで DAW のカスタムギターキャビネット IR を使用できます。



6.1. Software Re-amping

Synergy Core のアンプとキャビネットを使用して、DI ギタートラックをリアンプできます。

1. DAW を開き、DI をトラックに配置し、出力 1 - 16 のいずれかに割り当てます。

DAW 出力 = COMPUTER PLAY

2. コントロールパネルを開き、「DAW」タブをクリックします。チャンネル 1 - 4 の入力セクターをクリックし、DAW 出力と同じ番号の [COMPUTER] 入力を選択します。

3. AFX エリア内をクリックして、FX ラックからアンプ、キャビネット、FX を積み重ねます。

4. DAW で新しいトラックを作成し、ライブモニタリングを有効にします。正しい入力チャンネル（出力チャンネルと同じ番号）を割り当て、トランスポートコントロールで「再生」を押します。リアンプされたトラックが聞こえ、録音できるはずです。



7. EDGE & VERGE MIC EMULATIONS

Edge & Verge マイクエミュレーションは、Antelope Audio Edge & Verge モデリングマイクのみで使用することを目的としています。他のマイクで最適な（または使用可能な）結果を保証することはできません。

7.1 マイクモデリング入門

フロントパネルの HP1 にヘッドフォンを接続します。Antelope Audio Edge または Verge モデリングマイクをプリアンプ/コンボ入力に接続します。この例では、入力 A1 と A2 に接続されている Edge Duo を使用しています。

1. コントロールパネルを開き、PREAMPS 行から左端のプリアンプに移動します。「AFX」エリアの上にある入力セレクターをクリックし、メニューから PREAMPS > PREAMP 1 を選択します。
2. [マイク] アイコンになるまで、音量インジケータの右側にある中央の記号をクリックします。次に、[歯車] アイコンをクリックし、マイクエミュレーションウィンドウを起動します。ダイヤルで Edge Duo を選択します。
3. ゲインノブでマイクゲインを調整します。プリアンプ A1 と A2 がリンクされ、それらの間で同じ設定になっていることに注意してください。この時点で、ヘッドフォンでマイクの音声が聞こえるはずですが、下部の HP 1 ゲインノブまたはチャンネル 1 と 2 のミックスフェーダーを使用して、出力ボリュームを調整します。

7.2. ゲイン調整のキャリブレーション

Edge Solo と Verge のゲイン調整は簡単ですが、Edge Duo と Edge Quadro はマルチメンブレンマイクロフォンです。各信号を別々で使用したい場合は、入力信号強度に違いがある場合があり、個々のゲイン調整で補正する必要があります。

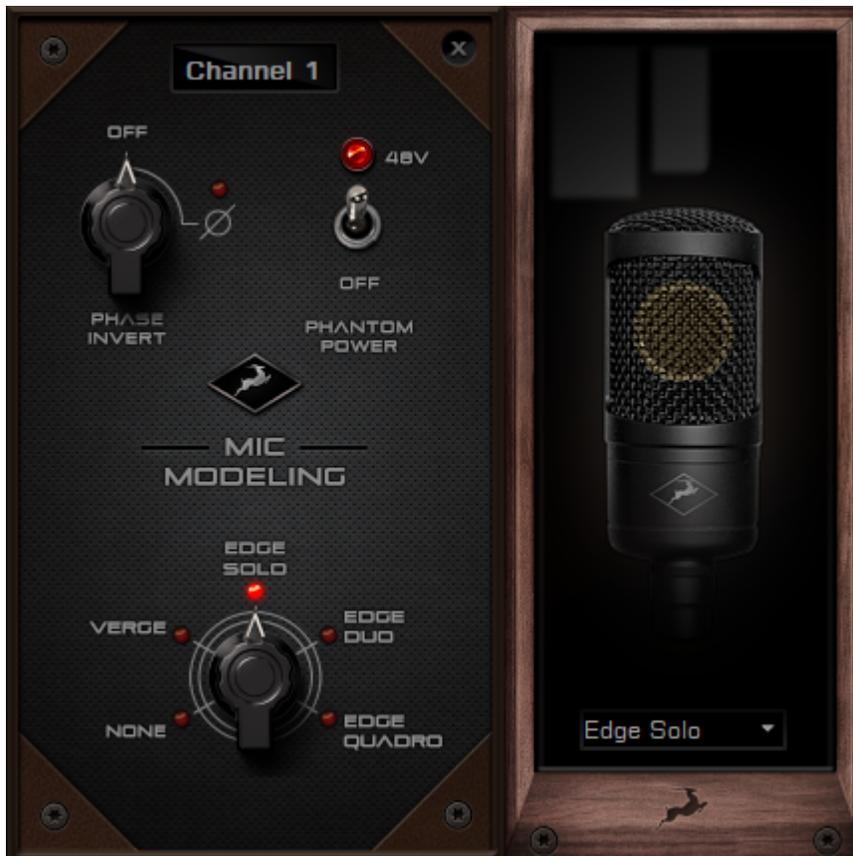
注意として、Edge Duo および Edge Quadro のマイクエミュレーションは、入力チャンネルを自動的に「リンク」するため、マイクエミュレーションの使用中は、入力ごとの個別のゲイン調整はできません。



マイクエミュレーションを使う

[マイクエミュレーション] ウィンドウで、ダイヤルを回転させ、使用可能なエミュレーションにアクセスします。
以下は、各 Antelope Audio モデリングマイクでマイクエミュレーションを使用するためのガイドです。

7.3. Edge Solo



Edge Solo のマイクエミュレーションウィンドウ

- 右側のドロップダウンメニューからマイクエミュレーションを選択します。
- [Phase Invert] のダイヤルをクリックして回し、マイクの極性を反転できます。
- [48V] スイッチをクリック & ドラッグし、ファンタム電源をオン/オフできます。



Edge Solo の信号のレコーディングとモニター方法

Edge Solo は、単一のメムブレンコンデンサーマイクです。これは、マイクが 1 つの物理マイクプリアンプ入力と 1 つの仮想 [MIC EMU] 出力を占有することを意味します。

Edge Solo のマイクエミュレーションは、単一の入力オーディオチャンネルで動作します。「ドライ」オーディオと「マイクエミュレーション」オーディオの両方を録音およびモニターすることは、2つのモノラルトラックを扱うことを意味します。

- Edge Solo の [PREAMP] を任意の出力にルーティングして、「ドライ」オーディオをモニターしつつ DAW へ信号を送り、録音できます。
- Edge Solo の [EMU MIC] (PREAMP 入力と同じ番号) を任意の出力にルーティングして、「マイクエミュレーション」オーディオをモニターしつつ、DAW へ信号を送り、録音できます。
- [PREAMP] および [EMU MIC] チャンネルを異なる出力にルーティングし、録音またはモニターして、「ドライ」と「マイクエミュレーション」の両方のオーディオを DAW 上で取得できます。

Edge Solo の製品について詳しい情報は製品ページをご確認ください。[こちら](#)



7.4. Edge Duo

「Edge」モデリングマイクの所有者への注意：「Edge」と「Edge Duo」は同じハードウェアですので、「Edge Duo」エミュレーションを旧「Edge」マイクに自由に使用してください。

Edge Duo のマイクエミュレーションウィンドウ



- 中央のドロップダウンメニューからマイクエミュレーションを選択します。
- [Phase Invert] ダイアルをクリックして回し、マイクの極性を反転できます。
- [48V] スイッチをクリック&ドラッグし、ファンタム電源をオン/オフできます。
- [Channel Swap] ダイアルをクリックして回し、Edge Duo の 2 入力を切り替えられます。
- [Pattern] ノブをクリックして回し、極性パターンを調整します。一部のマイクモデルには、固定または制限された極性パターン調整があります。

Edge Duo のレコーディングとモニタリング

Edge Duo はデュアルメンブレンコンデンサーマイクです。デュアルメンブレン付きのカプセルが1つあり、Y-XLR ケーブル（付属）、各メンブレンに1つの XLR コネクタで接続します。左（白）コネクタは前面のダイヤフラムで、右（赤）コネクタは後面のダイヤフラムです。



マイクは、2つの物理的なマイクプリアンプ入力と2つの [EMU MIC] 仮想出力を占有します。

メモ: XLR コネクタの1つを外すことで、Edge Duo を単一コンデンサーマイクとして使用できます。この場合、マイクエミュレーションは表示されますが、正しく機能せず、極性パターンの調整ができません。

Edge Duo を単一指向性マイクとして使用する

Edge Duo の [PREAMP] 入力を任意の出力にルーティングして、「ドライ」オーディオをモニタし、DAW の入力 1 - 16 から録音するだけです。

Edge Duo をデュアルメンブレンコンデンサーマイクとして使用する。

この場合、2つの同時モノ入力を録音およびモニターします。1つは各ブレンのものです。メンブレンとパフォーマーの間の物理的な距離により、音色と音量がわずかに異なります。メンブレンごとに個別のゲイン調整で補正する必要がある場合があります。

Edge Duo が占有する [PREAMP] 入力を目的の出力にルーティングして、「ドライ」オーディオをモニタし、DAW の入力 1 - 16 から録音します。

Edge Duo をモデリングマイクとして使用する

「Edge Duo」マイクエミュレーションが有効になっていることを確認します。Edge Duo が占有する [PREAMP] 入力に対応する [MIC EMU] 入力を、DAW の入力 1 - 16 からモニタリングおよび録音するための目的の出力にルーティングします。

ドライシグナルとマイクエミュレーションシグナルを録音、モニターする

Edge Duo では、「ドライ」および「マイクエミュレーション」オーディオのモニタリングと録音は、4つの同時モノ信号（2つの「ドライ」トラックと2つの「マイクエミュレーション」トラック）を同時に処理することを意味し



ます。「ドライ」オーディオは [PREAMP] 入力から発生し、「マイクエミュレーション」オーディオは [MIC EMU] 出力から発生します。任意の場所にルーティングし、DAW の入力 1 - 16 から録音します。

Edge Duo の製品について詳しい情報は製品ページをご確認ください。[こちら](#)



7.5. Edge Quadro

Edge Quadro の接続

Edge Quadro は、4メンブレンコンデンサーマイクです。2つのヘッドがあり、それぞれにデュアルブレンが採用されています。トップヘッドは 360 度回転し、M/S、X/Y、Blumlein、さらには 3D サウンドなどのステレオ録音技術に応用できます。マイクには Y-XLR のペアケーブルが付属しています。左（白）コネクタは前面のメンブレン用で、右（赤）コネクタは後部のメンブレン用です。

各ケーブルとマイク本体には上部と下部のヘッド用に指定されたラベルがそれぞれに付けられています。T（上部）または B（下部）ラベルがマイクとケーブルに付いており、各ケーブルとマイクを接続します。

Edge Quadro を Discrete 4 Synergy Core に接続するためのオプションが多数あります。

シングルメンブレン（回転可能）コンデンサーマイクとして使用する。

対応するケーブルを使用して、上部（回転可能）または下部ヘッドから XLR を 1 つだけ接続します。可能な構成は次のとおりです。

1. Top Head – Front Membrane.
2. Top Head – Rear Membrane.
3. Bottom Head – Front Membrane.
4. Bottom Head – Rear Membrane.

デュアルメンブレン（回転可能）コンデンサーマイクとして使用する。

上部および下部ヘッドのいずれか（または両方）の 2 つの XLR を対応するケーブルで接続します。可能な構成は次のとおりです。



1. Top Head – Front and Rear Membranes.
2. Bottom Head – Front and Rear Membranes.
3. Top Head – Front Membrane. Bottom Head – Front Membrane.
4. Top Head – Front Membrane. Bottom Head – Rear Membrane.
5. Top Head – Rear Membrane. Bottom Head – Front Membrane.
6. Top Head – Rear Membrane. Bottom Head – Rear Membrane.

クアッドメンブレン回転式コンデンサマイクとしてしようする。

両方のヘッドのすべての XLR を対応するケーブルで接続します。これは Edge Quadro マイクエミュレーション唯一のオプションです。



Edge Quadro のマイクエミュレーションウィンドウ



Edge Quadro と Edge Duo のマイクエミュレーションは同一です。ただし、2つの異なるマイクエミュレーション（ヘッドごとに1つ）を同時に適用でき、2つの異なる極性パターンも交換できます。全体として、機能は同じですが、2つのマイクエミュレーションセレクターと2つのポーラーパターンチェンジャーを備えています。

Edge Quadro のレコーディングとモニタリング

Edge Quadro の 360 度録音とデュアルエミュレーション機能を最大限に活用することは、マイクが4つの物理マイクプリアンプ入力と4つの [MIC EMU] 仮想出力を占有することを意味します。

Edge Quadro で「ドライ」および「マイクエミュレーション」オーディオを同時にモニター/録音するには、8つのモノラルトラックを同時に処理する必要があります。トップヘッドから2つの「ドライ」、ボトムヘッドから2つの「ドライ」、2つの「マイクエミュレーション1」と2つの「マイクエミュレーション2」。

非常に多くの信号を使用できるため、ルーティングと処理の可能性は広がります。マニュアルを書き留めて、スキルと創造性を探ってください。

Edge Duo の製品について詳しい情報は製品ページをご確認ください。 [こちら](#)



7.6. Verge

Verge は、Edge Solo と同じくらい使いやすい小型のダイアフラムコンデンサーマイクです。高い音圧レベルを処理する能力により、狭いスペースでの位置決めや、ドラムキットなどの非常に大きな音源の録音に適しています。



Verge Mic のマイクエミュレーションウィンドウ

- 右側のドロップダウンメニューからマイクエミュレーションを選択します。
- [Phase Invert] ダイアルをクリックして回し、マイクの極性を反転できます。
- [48V] スイッチをクリック & ドラッグし、ファンタム電源をオン/オフできます。

Verge のレコーディングとモニタリング

Verge は、単一指向の小型ダイアフラムコンデンサーマイクです。これは、マイクが 1 つの物理的なマイクプリアンプ入力と 1 つの [MIC EMU] 仮想出力を占有することを意味します。



Verge マイクエミュレーションは、単一の入力オーディオチャンネルで動作します。「ドライ」オーディオと「マイクエミュレーション」オーディオの両方を録音およびモニターすることは、2つのモノラルトラックを同時に処理することを意味します。

- Verge の [PREAMP] 入力を任意の出力にルーティングして、「ドライ」オーディオをモニターします。
- Verge の [EMU MIC] 出力（PREAMP 入力と同じ番号）を任意の出力にルーティングして、「マイクエミュレーション」オーディオをモニターします。
- [PREAMP] ブロックと [EMU MIC] ブロックを任意の出力にルーティングして、「ドライ」と「マイクエミュレーション」の両方のオーディオをモニターおよび記録します。
- DAW の入力 1–16 へ録音します。

Verge の製品について詳しい情報は製品ページをご確認ください。[こちら](#)



8. AFX2DAW

AFX2DAW は、Synergy Core FX を DAW のインサートとして使用するためのブリッジプラグインです。すべての Synergy Core FX 処理および I/O オーディオストリーミングアクティビティは、インターフェイスの DSP および FPGA プロセッサによって処理されます。AFX2DAW は、DAW の Synergy Core FX オートメーションの追加ボーナスにより、より迅速なワークフローを提供します。これは、他の方法では利用できません。

執筆時点では、AFX2DAW は Thunderbolt™を介した Mac コンピューターでのみサポートされています。Windows バージョンは開発中です。

AFX2DAW の詳細と購入については [ここをクリック](#) してください。

AFX2DAW のセットアップ

AFX2DAW を購入すると、Antelope Audio ユーザーアカウントの登録に使用した電子メールアドレスで「Claim Code」を受け取ります。

注意: 電子メールが受信ボックスに届かない場合は、「スパム」フォルダーと「迷惑メール」フォルダーを確認してください。

1. antelopeaudio.com のログインページから自分のアカウントへログインして Claim features に 移動し、購入した Claim Code を認証してください。
2. Antelope Launcher を開き、「Plug-ins」 ボタンをクリックします。「AFX2DAW」の最新バージョンをダウンロードしてインストールします。
3. Discrete 4 Synergy コアコントロールパネルを起動します。
4. [?] ボタンをクリックし、[ADMINISTRATION] をクリックします。先程 Claim Code を登録したアカウント情報でログインし、「Continue」をクリックします。



5. [Register device or assign features] を選択し、画面の指示に従って AFX2DAW を Discrete 4 Synergy Core に割り当てます。

6. DAW を起動し、AFX2DAW のインスタンスをモノラルまたはステレオトラックにロードします。プラグインは、Control Panel FX Rack とほぼ同じように動作します。

- [ADD NEW EFFECT] ドロップダウンメニューをクリックして、効果を選択して追加します。インスタンスは、右側の FX ラックに表示されます。左側のリストでは、クリックしてドラッグして並べ替えることができます。
- 「SAVE」ボタンと「LOAD」ボタンを使用して、FX チェーンを保存します。
- [BP ALL] および [DEL ALL] ボタンを使用して、現在ラックにあるすべての FX をバイパスまたはクリアします。
- これらのボタンの下のドロップダウンメニューを使用して、プリセットをロードします。
- 左側の各エフェクトの横には、個別の [BP]（バイパス）ボタンがあります。
- Command/Ctrl キーを押しながら FX パラメーターをクリック & ドラッグで少しずつ調整できます。

メモ: DAW セッションで開いているすべての AFX2DAW ウィンドウを閉じれば、CPU を使用してピークメーターの動きをアニメーションする必要がなくなり、完全に CPU フリーになります。



9. 高度なユーザー向け情報

Discrete 4 Synergy Core を Master clock として使う

独自の64ビット Antelope Audio アルゴリズム (Acoustically Focused Clocking & Jitter Management) によって提供される Discrete 4 Synergy Core の非常に安定した音楽クロッキングを利用して、セットアップ内の他のデジタルオーディオデバイスのタイミング基準を生成することをお勧めします。

これは、マスターデバイスがそのタイミング基準信号でスレーブデバイスを「クロック」するマスター-スレーブ配置で行われます。Discrete 4 Synergy Core をマスタークロックとして設定するには、標準の BNC ケーブルを使用して、Word Clock Out 1 または 2 をスレーブデバイスの Word Clock In に接続します。Discrete 4 Synergy Core は特定のセットアップを必要としませんが、受信デバイスはスレーブとして機能するために設定を変更する必要がある場合があります。

軽くお読みください:

- デジタルクロッキングとジッターの入門書については [この記事](#)
- 深い内容については [こちら](#) を参照ください。



10. サポートインフォメーション

日本語のサポートは [日本語サポートページ](#) をご参照ください。

Antelope Audio Customer Support can be reached by the following means:

Online

Visit support.antelopeaudio.com

Phone

US time: 12AM (midnight) – 8PM (CST), Monday – Friday

US Phone Number: [\(916\) 238-1643](tel:+19162381643)

European time: 6AM – 2AM (GMT), Monday – Friday.

UK Phone Number: [+44 1925933423](tel:+441925933423)

Live Chat

US time: 12AM (midnight) – 2PM (CST), Monday – Friday

European time: 6AM – 8PM (GMT), Monday – Friday.

Note: If you're trying to reach us outside working hours, we advise you to file a ticket in our customer support system or leave a voice message.

Additional Resources

- The [Antelope Audio YouTube channel](#) is home to various tutorial videos and endorser content which you may find helpful and inspiring.



- The [Antelope Audio Users Facebook group](#) lets you interact with fellow users and some of our employees. Note, however, that it is not meant to be a support group. Please contact our customer support team for such inquiries.
- The [Knowledge Base](#) in our Customer Support section is an often-overlooked source of troubleshooting information, answers to commonly asked questions and Antelope know-how.



11. 製品が正常に動作しない場合

製品について日本語での解説は [こちら](#) をご参照ください。
ほぼすべてのトラブルに対する対処法が記載されています。

どうしたらよいですか？

自分で解決策が見つからない場合は、ハードウェア関連の問題があるかどうかを確認するために、サポートにご連絡ください。問題がハードウェアに起因する場合は修理が確定次第、修復プロセスをご案内します。修理手順のために RMA 番号が発行されます。初期不良や返品等の場合は、必ず購入した販売店へご連絡ください。RMA が発行されていないにもかかわらず製品を Antelope Audio へ配送しても返送されるだけです。必ず修理手順を踏んでからデバイスを Antelope Audio へ配送してください。

RMA とはなんですか？

工場でのサービスまたは修理手続きには、RMA (Return Merchandise Authorization) 番号の発行が必要です。RMA 番号を受け取らずにデバイスを送信しないでください。デバイスは返品され、サービスは提供されません。(日本での修理でも必ず必要になる番号です。ただし、お客様が RMA の番号を受け取る必要はありません。日本の修理案内担当の指示に従い、デバイスを発送してください。)

RMA 番号を取得するにはどうすればよいですか？

Antelope Audio カスタマーサポートチームは、RMA 番号の発行を担当しています。
国内修理については jp.antelopeaudio.com/support/ にアクセスして修理についての欄を参照ください。

RMA が発行された後、手順を説明したメールが届きます。



RMA 配送情報

配送する製品と一緒に、氏名、配送先住所、デバイスのシリアル番号、テクニカルサポートチームが発行した RMA 番号、技術的な問題に関する短い情報を記載したメモを添えてください。

必ず製品を配送する際は、元箱を使用するか、ない場合は十分に緩衝材を詰めて梱包し、ご配送ください。配送中のトラブルに関しては Antelope Audio は一切責任を負いかねます。必ず配送の保険に加入するか、問題が起きた場合は配送業者に連絡してください。

輸送中に出荷ラベルの判読できなくなった場合に備えて、別のラベル、古い出荷情報は削除し、箱の中にお客様情報が記載されたメモを必ず追加するか、追跡番号を必ず保管し、テクニカルサポートに事前に通知してください。デバイスが行方不明になる事案が増えています。

送料は製品の所有者が負担となります。日本国内の修理ではなく、Antelope Audio 本部、ヨーロッパでの修理の場合、返送時における日本の関税をカバーできません。予めご了承ください。

パッケージには、精密機械やワレモノ注意のシールを付け、保険をかけ、追跡番号を必ず控えてください。

デバイスのシリアル番号は、すべての発送書類に忘れずに追加してください。

Antelope Audio は、未配達のパッケージについて責任を負いかねます。Antelope Audio へ配送途中で紛失または損傷の損害請求については、配送サービスプロバイダーに直接お問い合わせください。

Antelope Audio は、不十分なパッケージングによる製品の損傷に対する修理費用をカバーできません。梱包が不十分での配送で発生じたデバイス破損が大変増えております。デバイス配送時における梱包作業を十分に行ってください。



12. 限定製品保証ポリシーについて

これは、Antelope Audio ブランドのハードウェア製品（以下「製品」といいます）を正規の Antelope Audio 再販業者から購入したエンドカスタマーに提供される譲渡不可の任意の限定製品保証です。

購入国、または異なる場合は居住国の消費者保護法または規制の対象となるお客様の場合、Antelope Audio の限定保証によって付与される特典は、代わりにではなく、追加であり、消費者保護法および規制によって伝えられる権利と救済策であり、消費者法から生じる購入者の権利を排除、制限、または一時停止するものではありません。

消費者には、Antelope Audio Limited Warranty または消費者法の権利に基づいてサービスを請求するかどうかを選択する権利があります。

Antelope Audio の限定保証に基づいて行われるすべての申し立ては、この保証書に記載されている条件に準拠します。

保証範囲

Antelope Audio は、認定された Antelope Audio の再販業者からエンドカスタマーが製品を購入した日から1年間、製品に材料および製造上の欠陥がないことを保証します。

適用される現地の法律で明示的に禁止されている場合を除き、この保証は元の購入者に限定され、譲渡できません。この保証は特定の法的権利をお客様に提供するものであり、現地の法律により異なる追加の権利を有する場合があります。

一般に、この保証は、Antelope Audio ハードウェア製品が、データシートで指定された公開された技術仕様に従って、保証期間中に意図された動作環境で動作することを意味します。



このバージョンの保証は、2018年1月1日以降に購入された製品に適用されます。Antelope Audio の限定保証の以前のバージョンについては、カスタマーサービスにお問い合わせください。

工場再生品 (B-stock) 限定保証

Antelope Audio は、“B-stock、Factory Refurbished or Open Box” として販売されている製品が、材料の欠陥（製品の説明に別段の記載がない限り）仕上がり欠陥がないことを保証します。この保証の対象となるのは、正規代理店または Antelope Audio から直接購入した製品のみです。

工場修理品 (B-stock) 限定保証は、現地の規制で別途必要とされていない場合、製品の購入日から 6 か月間有効です。

以下に記載されているすべての保証条件は、特に指定がない限り、B-stock 保証にも適用されます。

救済措置

Antelope Audio の全責任および公開された技術仕様に従って動作していない Antelope Audio 製品に対するお客様の排他的な救済は、Antelope Audio の裁量によります。

- 1) 良好な動作状態で、新品または同等の再生品を使用して、Antelope Audio の費用で製品を修理する。または
- 2) Antelope Audio の費用で製品を、良好な動作状態の新品または新品と同等の機能を備えた製品と交換すること、または
- 3) 支払った価格を払い戻す。Antelope Audio が支払った価格の返金を決定した場合、製品に生じた損害を支払った製品の価格から差し引くことができます。保証期間の満了から14日以内に、
 - (i) Antelope Audio が不適合の書面による通知を受け取った場合
 - (ii) Antelope Audio の書面による承認後、顧客が不適合製品を指定された場所に返品した場合



(iii) Antelope Audio が製品が不適合であり、そのような不適合は以下に指定された除外の結果ではないと判断した場合。

これらの保証義務は、ハードウェアが購入元の場所、または元の販売領収書が添付された Antelope Audio の指示場所に返品されることを条件としています。製品の返品には、送料および手数料を支払う必要があります。製品の返品に関して、他の該当する関税、関税、税金、またはその他の料金を支払う必要がある場合があります。

修理または交換された製品は、元の保証期間の残りの期間、保証されます。

廃止または生産終了した製品

廃止または生産終了した製品は、可能な限り、同じ製品で修理または交換されます。Antelope Audio が廃止または生産終了製品を同じ製品と交換、修理できない場合、Antelope Audio は、その廃止または生産終了した製品を独自の裁量で、同様の機能と容量を備えた製品と交換します。

除外される条件

この保証は、次のいずれかに起因する問題や損傷を対象としていませんが、これらに限定されるわけではありません。

- (ii) モディファイ、乱用、事故、分解、悪用、誤用、過失、神の行為、など。
- (iii) Antelope Audio または Antelope Audio により保証作業を行う権限を与えられた者以外による不正な修理または修理の試み。許可されていない修理は、この保証を無効にします。
- (iv) 供給された製品の指示に従わない使用を含む、不適切な操作、保守、または設置。
- (v) 不適切な電圧供給への接続。
- (vi) Antelope Audio が提供していない消耗品またはスペアパーツの使用。ただし、該当する現地法でそのような制限が禁止されている場合を除きます。
- (vii) 材料または製造上の製品の欠陥に関連しないその他の原因。



保証は、誤用、放置、事故、または改造の対象となった製品、または通常のテスト条件でテストできないようにはんだ付けまたは変更された製品には適用されません。

この保証は、

(i) 偽造製品、つまり、Antelope Audio が独自の裁量で、Antelope Audio またはその認定製造パートナーによって製造されていないと判断した製品には適用されません。

(ii) Antelope Audio の認定ディーラーまたは再販業者ではない個人または団体から購入した製品。

(iii) 「現状のまま」または「すべての過失を伴って」販売された製品は、現地の法律で許可されている範囲内で販売されます。

この保証は、製造業者のラベル、シリアル番号、日付スタンプ、または保証ステッカーが製品から変更または削除された場合は無効です。

責任の制限

Antelope Audio は、いかなる明示的または黙示的保証の違反に対する利益、収益、またはデータの損失（直接的または間接的）または商業的損失に限らず、いかなる特別、偶発的、間接的、または結果的損害についても責任を負わないものとします。

Antelope Audio がこのような損害の可能性について事前に知らされていたとしても、一部の地域の法律では、特別、間接、偶発的または結果的損害の除外または制限が許可されていないため、この制限または除外はお客様の法域では適用されない場合があります。

Antelope Audio は、その製品に関連する他の責任を他の人が負うことを想定または承認しません。

データ復旧

Antelope Audio ストレージデバイスを使用してデータが失われた場合、Antelope Audio は、失われた可能性のあるデータをバックアップまたは復元する責任を負いません。



その他の保証なし

Antelope Audio の従業員、ディーラー、再販業者、またはその他のエージェントは、この保証の変更、延長、追加を行うことを許可されていません。

保証請求の方法

有効な保証請求は、購入先で処理する必要があります。また、製品を購入した小売店で返品ポリシーを直接確認してください。元の購入場所で再処理できない保証請求は、Antelope Audio に直接送付してください。カスタマーサービスの連絡先情報は、Web または製品に付属のドキュメントに記載されています。

製品の返品

修理または交換のために Antelope Audio 製品を返品する必要がある場合、Antelope Audio は返品許可番号（RMA #）と返品指示を提供します。Antelope Audio の事前の承認なしに製品を返品しないでください。有効な一意の RMA 番号なしで返品された製品は拒否され、送信者の費用で送信者に返送されます。受領時の問題を回避するには、パッケージの外側に RMA 番号を明確に書き、パッケージ内に RMA 確認メールのコピーを含めます。

特定の状況において、保証対象のユニットについては、お客様の国に在庫がある場合、一時的な交換ユニットを提供することがあります。（完全な提案ではありません）一時的な交換ユニットを要求するには、有効なクレジットカードを提供して、Antelope Audio が欠陥のあるユニットを受け取る前に、出荷のために新しい交換ユニットを確保する必要があります。



返品許可番号（RMA #）をリクエストする

RMA 番号を取得するには、次の手順に従ってください。

(i) エンドユーザーのお客様については、support.antelopeaudio.com からオンラインで申し立てを送信してください。企業間（B2B） / Antelope Audio の直接のお客様は、[techsupport @ antelopeaudio.com](mailto:techsupport@antelopeaudio.com) までメールでお問い合わせください。

(ii) RMA 処理（つまり、領収書、請求書など）には、有効な購入証明が必要です。Antelope Audio は、クレーム提出日から2営業日以内に RMA 番号を提供します。

※ 日本国内の案件に関して、日本国内担当が Antelope Audio の間に入り、処理いたします。

RMA 返信先

世界中に複数の RMA 受信場所があります。RMA 確認書には、RMA パッケージを送信するときに使用する必要がある特定の返信先住所が指定されます。許可されていない場所で受け取った荷物は拒否され、送信者の費用で送信者に返送される場合があります。

輸送中に紛失または破損した製品

返品する製品を梱包するには、元の梱包材を使用する必要があります。元のパッケージが利用できない場合は、製品と同等以上の保護を提供するような材料を使用する必要があります。外部の損傷があったり、梱包が不十分であると思われる荷物はすべて拒否され、送信者の費用で送信者に返送されます。RMA 受け取り場所への配送中に生じた損傷、または製品の紛失または盗難については、責任を負いません。



企業情報

Antelope Audio は、ブルガリア共和国の法の下で UIN: 131052590 で登録された Elektrosfera Ltd. という会社が商取引を行っており、世界的に知られている商品名です。

本書の他所で、**Antelope Audio** という商品名が使用されている場所は、Elektrosfera Ltd.

管理住所: Tsarigradsko Shose Blvd., 7th km, Building of BIC IZOT, floor 6, Mladost region, Sofia, Bulgaria.

以下のいずれかの条件が違法または法的強制力がないと判断された場合、この保証から除外され、残りの条件の合法性または強制力は影響を受けません。



13. 製品を安全にご利用頂くために

感電・災害などのリスクを減らすために必ず事前にお読みください。

- ネジ、カバー、またはキャビネットを取り外さないでください。内部にはユーザーが修理できる部品はありません。正規のメーカーサービスに修理を依頼してください。
- このデバイスを雨、湿気、またはあらゆる種類の液体のこぼれにさらさないでください。
- 何らかの液体または異物がデバイスに入った場合は、デバイスを使用しないでください。万が一、異物や液体が製品に混入した場合は直ちに電源を落とし、コンセントからケーブルを抜いてください。異物が取り除かれるか、液体が完全に乾燥してその残留物が完全にきれいになるまで、デバイスを再度操作しないでください。
- 濡れた手で電源ケーブルに絶対触れないでください。
- 電源ケーブルを抜き差しする場合は、必ず本体の電源スイッチを落とした状態で行ってください。
- 本体の上に物を置いたり、換気の悪い狭い場所でデバイスを使用したりしないでください。デバイスの動作や他の近くにあるコンポーネントの動作に影響を与えることがあります。
- 何か問題がある場合は、まず装置の電源を切り、電源を抜いてください。デバイスを自分で修理しようとししないでください。テクニカルサポートまたはディーラーまでご連絡ください。
- ラジエータ、ストーブやその他の熱を発生する装置（アンプを含む）など熱源の近くには装置を設置しないでください。
- お掃除の際には強い化学薬品は使用せず、電子機器専用のクリーナーをご使用ください。
- 本体の電源を入れる前にすべての周辺機器を接続してください。
- 製品は、電源コードを介して主電源のアースに接続されています。
- アースを取り付けずに本製品を使用しないでください。



- DC 電源ケーブルは人が踏んでしまうような場所や、挟まれたり、他のものが上に乗ることのないように設置、接続するようにしてください。
- 本製品の電源を完全に落とす場合は、まず電源ケーブルをコンセントから抜き、本体背面から電源ケーブルを抜いてください。
- ヘッドフォンやモニターを通して頻繁に、または長時間大きい音量・音圧に耳を晒してしまうと聴覚器官の損傷の恐れがあります。くれぐれもご注意ください。
- 運送中またはフライトケースでユニットを搬送する場合は、必ずラックから外してください。
- 本製品は下記の温度環境で動作するように設計されています。
0-50 °C、32-122°F



14. 技術仕様

Analog Inputs	2 x Mic / Line Inputs 2 x Mic / Line / Hi-Z Inputs
Analog Outputs	1 x Monitor Out on TRS 1/4 Jacks, +20 dBu max 4 x Line Outs on TRS, +20 dBu max, DC-Coupled 4 x Stereo Headphone Outputs
Mic Preamp	EIN: -128 dBu (A-weighted) Dynamic Range: -121 dB (A-weighted) THD: -106 dB Max input: +18 dBu Max Gain: 65 dB
D/A Monitor Converter	Dynamic Range: 121 dB THD + N: -100 dB
A/D Converter	Dynamic Range: 121 dB THD + N: -112 dB
D/A Converters (Line Out)	Dynamic Range: 118dB THD + N: - 100dB
Digital Inputs	1 x ADAT (up to 8CH) 1 x S/PDIF
USB 2.0 I/O	USB 2.0 Type B connector



Thunderbolt™	Thunderbolt™ 2 connector
Word Clock Outputs	2 x Outputs @ 75 Ohms 3Vpp on BNC 32 – 192kHz
Clocking System	4th Generation Acoustically Focused Clocking & Jitter Management 64-bit DDS
Sample Rates (kHz)	32, 44.1, 48, 88.2, 96, 176.4, 192